

AJU愛実

認定
編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／紙風船)

定価：一部100円

第55号会報

福祉の創造 平等く公平く公正 / 理事長 戸田 真二	P 1
2022年度事業報告 ・ 2023年度運営方針	P 2
2022年度活動計算書	P 3
居宅介護事業所あみ	P 4
大地の家 (生活介護)	P 5~6
紙風船 (生活介護)	P 7~8
いのちのはじまり / 島 しづ子	P 9
寄付者名簿	P 10



大地の家
(ガーデン埠頭)

紙風船
(デイルーム)



福祉の創造 平等<公平<公正

理事長 戸田真二

平等と公平と公正の違いを正しく理解することは難しく、どれも同じように捉えてしまいます。下記の3つのイラストは、その違いを視覚化することで分かりやすく、配慮すべき視点を学ぶことができます。



平 等

公 平

公 正

野球観戦をしている背丈の違う3人について、一番左の図はみんな同じなんだから、特別扱いはしないのが平等性です。何の配慮もなく2人の子どもは障壁によって野球を見ることができません。真ん中の図は同じ高さの台が等しく配られています。これで真ん中の人も観戦できるようになりました。公平性は同じだけ与えることが基本とされています。それでも左の子どもはまだ見ることができません。一番右の図は配られた台の高さは背の高さによって違ってきます。しかし3人の目線を見ると、みな同じ高さで観戦できていることに気づきます。同じ満足が与えられています。これが公正な判断であり、配慮すべき視点がここにあると思います。

障がいのある方への支援は、決して特別なことをしているのではなく、普通のごく当たり前の生活を送るために、目の前の障壁を取り除きながら必要とされるサポートを行っているのです。

福祉＝すべての人の幸せを創造すること ひとり一人の笑顔大切に、共に生きる社会を目指しています

しかし、一方では福祉のあり方が変わってきているように感じられます。今や福祉サービスは契約時代となり、サービスは権利として、またお金で買うものとして利用者と提供者という利害関係が生まれているからです。権利を主張する人だけが優先されたり、契約以外のサービスは行わないとか、公正な視点がより難しくなってきました。

愛実の会の多くのメンバーは、重い障がいを抱えています。自ら権利を主張することや言葉で思いを表現することも難しい状況があります。私たちは試行錯誤しながらできる限りメンバーに寄り添い、声なき声に耳を傾けています。そしてメンバーの笑顔が私たちの喜びとして返ってくる時、共に歩むことの素晴らしさを感じることができるのです。～幸せの創造～

2022年度事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指し下記の3つの事業に取り組んでいます。

(1) 生活介護事業 (障がい者デイセンター愛実:大地の家・紙風船)

契約メンバー数 28名(2023年3月31日現在)1日平均 13.8名の利用(定員20人) 2022年度もコロナ禍による感染の影響を大きく受けることとなったが、感染対策を講じ休所することなく事業の継続を行うことができた。活動については外出活動の制限を徐々に緩和しながら、メンバーの笑顔を大切に寄り添う支援を実践した。

(2) 居宅介護・重度訪問介護及び移動支援事業 (居宅介護事業所あみ)

ホームヘルプ(身体介護、入浴、通院、外出支援、家事等)、安心できるサービス提供を行った。重度訪問介護については、地域自立生活支援として24時間のケアを実践した。またシェアハウスへの支援体制を確立し継続支援を可能とした。移動支援事業のサービス利用は今年度無し。

(3) 独自サービス事業

- ① 独自サービス(デイサービスの延長:朝・夕、入院時付添い、通院・外出時の車移動)の実施。
- ② シェアハウス「COPAIN」が9月よりスタート。初年度の設備投資を行い、バリアフリー化を実施。支援体制は居宅介護事業で行い、地域生活支援の新たなかたちが生み出された。共に試行錯誤しながら、安心して暮らせる場を目指しています。

★ 支援体制について 総数38名(2023年3月31日現在)

正職員17名、嘱託職員 2名、パート19名(生活支援員・看護師・給食・ドライバー・ヘルパー等)

※ 詳細については、愛実の会ホームページより、見える化→2022年度事業報告を参照ください

2023年度 愛実の会運営方針について

- ① 感染症対策及び防災の業務継続計画(BCP)の義務化
 - ・新型コロナウイルス等の感染症に関する指針を作成し、感染の予防から感染拡大及び事業継続への対応力を強化。
 - ・災害時における業務継続計画(BCP)の作成及び防災訓練・減災への意識強化
- ② IT化促進による業務効率化
 - ・介護システム導入による業務効率化
 - ・勤怠管理システム導入による業務の効率化
- ③ 職場環境の改善
 - ・ハラスメント等の相談窓口の設置
 - ・コミュニケーションの円滑化及び個々の気づきを大切にした取り組みの実施
- ④ シェアハウス「COPAIN」支援体制の充実
 - ・地域生活のモデルとして、安心した暮らしの場の提供及び支援体制の強化
- ⑤ 愛実の会の活動を地域社会に紹介をしていく
 - ・広報活動及び見える化の促進
 - ・災害時を想定とした地域との共助できるつながりへ



活動計算書

2022年4月1日～2023年3月31日

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	金 額		単位:円
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	147,000	147,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	11,414,462	11,414,462	
3. 受取助成金等			
受取助成金	6,412,991	6,412,991	
4. 事業収益			
1)生活介護事業収益	95,930,181		
生活介護事業	93,350,555		
食事収入	2,543,020		
就労支援事業収入	36,606		
2)居宅介護事業収益	30,473,880		
3)特例交付金収入	1,081,238		
4)移動支援収入	0		
5)独自サービス事業収益	763,531	128,248,830	
5. その他収益			
受取利息	341		
雑収益	1,243,368	1,243,709	
経常収益計			147,466,992
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	66,060,629		
賞与	9,177,834		
法定福利費	9,669,994		
福利厚生費	577,606		
人件費計	85,486,063		
(2)その他経費	34,872,319		
事業費計		120,358,382	
2. 管理費			
(1)人件費	11,491,921		
(2)その他経費	5,069,334		
管理費計		16,561,255	
経常費用計			136,919,637
当期経常増減額			10,547,355
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			10,476,355
前期繰越正味財産額			68,236,368
次期繰越正味財産額			78,712,723

※貸借対照表はWeb:愛実の会ホームページ及び内閣府NPO法人ポータルサイトより「愛実の会」検索にて閲覧することが出来ます。尚、皆様から頂いた寄付金は、①アシスタント支援強化費 ②紙風船夢づくり(新作人形劇制作)等のために活用させていただきました。2022年度は146名の方から寄付を頂きました。感謝を持ってご報告させていただきます。

居宅介護事業所あみ



素敵な出会いを求めて

藤澤 三友紀

私が、愛実の会で登録ヘルパーとして働きはじめたのが三年前です。20年以上も前に取得したヘルパー2級の資格を活かす時がくるなんて夢にも思いませんでした。

知人でもある愛実の会のアシスタントの方から「ヘルパー2級の資格も持っていたよね？仕事を手伝って欲しい。」と声をかけてもらい、「一度見学に来て」と誘われRさん宅へ。高齢者介護しか経験したことがなく、重度の障がいを持つ方の介護は未知の世界でした。最初の頃はご自宅に伺い、一人で夜間の見守りをするのがとても不安でした。教えてもらいながらやってきて、気が付けば三年の年月がたっていました。2023年2月からは正職員として働いています。登録ヘルパーの時は、メンバー一人としか関わり合いがありませんでしたが、正職員になり他のメンバーの方のヘルプも増え、新しい出会いもありました。慣れるまで入浴等のヘルプも大変でしたが、最近はメンバーが楽しそうに笑顔で迎えてくれると、同じ笑顔になっている自分がそこにいます。五年前によく当たるという占いで、「あなたは資格を使った仕事につきますよ」と言われたことを思い出しました。その時は、自分としては絶対にあり得ないなと思っていましたが、今では愛実の会の職員としてヘルパーの仕事をしています。

大変なこともあります、メンバーの笑顔を見ると和みます。これからも素敵な出会いがあることを楽しみに頑張っていきたいと思います。



COPAIN 新人ヘルパーとして

波佐谷 俊介

シェアハウスCOPAIN が始まって10か月ほど経ちました。

私が泊まり勤務に入るようになったのは、COPAINが始まってから少し経った昨年11月からでした。それまではデイサービスの勤務のみで、共同生活の場での支援はしたことがありませんでした。COPAINでの勤務が始まる昨年の6月から初任者研修を受講し資格を取得したり、グループホームやシェアハウスを題材にした映画や書籍を見たりして、自分なりにシェアハウスに携わることへの準備をしていました。しかし聞くと見るとでは大違いで、勤務が始まってからは知らないことわからないことだらけで、失敗も多く、落ち込むことも…。色々と迷惑をかけることもありましたが、先輩のヘルパーに一つずつ教わりながら経験を積むことができたと感じています。そして、COPAINで過ごすメンバーの笑顔を見ると元気付けられる気持ちになりました。

この10か月でメンバーもCOPAINに大分慣れてきたように思います。慣れてくるにつれて、メンバーと一緒にテレビ番組を見ながら雑談をしたり、メンバーが好きな歌をYouTubeで流して教えてくれたりと、普段のデイサービスとは違う新しい関わり方ができるようになってきたと実感しています。

今後も共同生活の場として、メンバーが安心した笑顔や寝顔で過ごせる場になるよう貢献していきたいと思います。



大地の家

(生活介護)

「大地の家」では、重度の身体・知的障がいを持った方々が通所されています。現在は、20代～50代の15名の方が通われています。

言葉でのコミュニケーションは難しいですが、メンバーの様子から周りの環境のことをよく理解されていることに気づかされます。そして、目線や表情、声や身体の動きなど、さまざまな方法で自己表現をしてくれます。「大地の家」では、メンバーの思いを汲み取り、寄り添える関係作りを目指しています。

毎日を明るく楽しく過ごすために“季節感”“音楽とのふれあい”“おでかけ”をテーマに明るく、一人ひとりの笑顔を大切に活動を行っています。

メンバーが主体的に関われる環境づくり

身体の動きに制限はありますが、自分で「できた！」を感じられた時は達成感に満ちた表情をされています。メンバーそれぞれの得意が活かせるような道具や参加方法を工夫しています。

ティータイムでは、“飲み物カード”の中から「今日の飲み物」を選択します。午前中の活動で作ったお菓子と一緒に午後のティータイムを楽しまれたりします。



創作活動



ゲーム



“飲み物カード”選択中

おでかけ

外に出かけることで解放感、充実感を感じられたらと思っています。

非日常の空間では普段とは違った表情がみられます。

気候の良い時期は、木場中央公園などご近所に散策に出かけます。

コロナ禍により、外出を控えた年もありましたが、徐々に外出を再開しています。



散歩



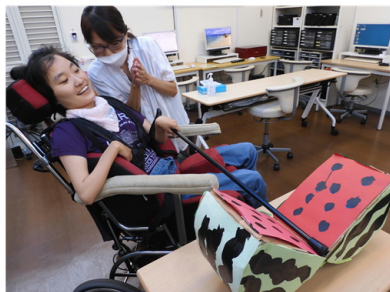
外出活動 (ブルーボネット)

季節を感じられる取り組み

五感“視る・聴く・触る・嗅ぐ・味わう”への刺激を大切にしながら、一年を通して季節を感じてもらえるよう様々な取り組みを計画しています。



初詣（東築地神社）



スイカ割り



旬の食材を使ったお菓子作り

音楽活動

歌に合わせて手足や身体を大きく動かしたりしています。

太鼓や鈴など楽器を演奏したりもします。曲に合わせてみんなで演奏したり、一人ひとりが楽器を使って表現してくれた



音に注目して聴いたりしています。大きな音やリズムがダイレクトに伝わることで刺激に繋がっています。楽しく音楽に触れ合いながら、みんなで一緒に楽しむことができる活動です。

身体のカア・リラックス

ほぼ毎日、「ふれあい体操」の時間をもうけています。声かけや歌に合わせて身体に触れることで、緊張が緩まるのを感じられます。また同じ歌を繰り返す行うことでメンバーも慣れ親しむことができ、よりリラックスすることができます。ゆっくりと一対一で向き合うことができるので、コミュニケーションも深まります。

足浴は、体温調整が苦手なメンバーも多く手足が冷えやすいため、みんな大好きな活動の一つです。

冬だけでなく、夏の冷房で冷えた体にも効果的です。



紙風船のページ (生活介護)

紙風船のメンバー(12名)



3年余のコロナ禍に耐え紙風船は少しずつ動き始めています。まだまだ制限は様々残っていますが『今できる事』から『これからしたい事』へと気持ちを切り替え、前に進んで行きたいと思えます。心からの笑顔をみんなに伝える、そんな気持ちを忘れずにこれからも活動していきます。

人形劇公演実績

昨年度は2回、公演が実現しました。
メンバーはオンライン、対面両方の経験をする事ができました。





メンバーの声を聴きながら

人形劇公演以外の活動では、「宣伝活動」「グッズ活動」「夢づくり活動」など、メンバーに合った様々な活動をしています。劇を続けていくための体力づくりや身体のケアなど、ホッとできる時間も取り入れています。



昨年度は、アルバイトの職員(音大生)による「音楽療法」の時間がありました。紙風船には音楽が好きでメンバーが多く、歌ったり楽器を奏でたりと貴重な体験ができました。また、ボッチャやeスポーツにも取り組み始めています。いつか対外試合にも参加できることを夢見て…



これからの紙風船～高く遠くへ～

オリジナル人形劇
製作中



玄関前でのグッズ販売

これからの紙風船は、人々とのつながりを人形劇を通してだけでなく、もっといろいろな分野に求める気持ちを抱き、誰もが活躍できる場所『紙風船』を目指し協力しあっています。



☆2023年公演予定:7月29日(土)大府市身体障がい者福祉協会主催「裸にされた王様と大臣」

いのちのはじまり

島 しづ子

沖縄生活四年目入りました。一年目の8月に結婚式を頼まれました。お祝いパーティーに着るドレス(?)を用意しましたが、コロナのために結婚式はうふぎと教会で行い、パーティーはありませんでした。一年後テイダ君が誕生しました。テイダ君は今年2歳になりました。私がおすそ分けした果物などを見ると「シーちゃん」と言ってくれるそうです。嬉しいです。シーちゃんと言ってくれる家族が近くにいてほのぼのします。

2021年7月末には辺野古・大浦湾でサンゴの移植が行われていました。大きなサンゴが割られて、手のひらに乗るくらい大きくなって、他の場所に運ばれて強力ボンドのようなもので移植されていました。痛々しい姿でした。その後、移植されたサンゴの多くは死んでしまいました。サンゴの死や海上行動仲間の死を悼んで、2022年3月「サンゴ・レクイエムHOPE SPOTに寄せる想い～島しづ子作品展」を行いました。最初サンゴを描いた絵を海の仲間に見せると「ぜんぜんそれらしくない。サンゴって書いときな」と笑われるくらいサンゴを描くのは苦勞しました。そんな絵も少しはサンゴらしくなり、購入してくれる人も現れ嬉しいことです。船に乗る時はいつでもシュノーケルで海の中のサンゴを見られるように準備しています。それほどに海の中の世界に魅せられています。

私の海上行動での役割は、船が出航するまでの準備、安全な地域での操船、カヌーチームの緊迫場面での写真撮影、下船後の船や台船の水洗い、ロープや備品の整理などです。辺野古側の護岸に土砂が積み上げられ、大浦湾側に護岸が伸びていくのを悲しく見つめています。その一方、光り輝く大浦湾やエメラルドグリーンとコバルトブルーの海の美しさに感嘆しています。暑い中、涼しい風、自由に流れる雲を見ていると平和な気持ちになります。

2023年6月5日の日のことです。抗議船平和丸は海上行動を終えて、大浦湾から外洋を回って辺野古漁港に向かいました。何か生臭い匂いがしてきました。「サンゴだ、サンゴの産卵だ！」と仲間たちが叫びました。前日4日は満月でした。その夜に産卵したサンゴのカプセルがいっぱい浮かんでいました。そこを20分前に通ったときには見なかったもので、わずかな間にサンゴが溢れるように海面に浮かんできたのでしょうか。サンゴの卵は単体だと色が無いのに、たくさん集まるとピンク、赤、桜色といろいろな色となって漂っていました。偶然目にするのが出来ました。10mぐらいのかたまりの筋がリーフの外に漂っていました。漂っている筋を全部並べたら、全長1kmぐらいになったでしょう。船上は大興奮です。

翌々日、「辺野古沖にサンゴの卵 ヘリ基地反対協・島さん撮影」と題して写真と記事が載りました。写真説明には「埋め立て工事の進む辺野古の沖合に浮遊するサンゴの卵。後ろに見えるのは無人島・長島＝5日午前11時15分ごろ、名護市辺野古(島しづ子さん提供)」とあります。日本自然保護協会主任の安倍真理子さんによると、私たちが見たサンゴはミドリイシという種類の卵で、4日の夜に産卵して、海中で受精後に海面に浮上したとみられるそうです。



誰もが見られるわけではないサンゴの卵を見、サンゴが漂う写真を撮れたのは、ご褒美みたいな気がしました。また、叩き割られたサンゴもある中、命の営みを悠然と行っている自然の力に元気をもらいました。一年ほど前、死んだ海亀の写真を新聞社に提供したら、「島さん、すごいね」って東京の友だちが言ってきましたが、今度は生きているサンゴの写真なので嬉しさ倍増です。

希望を見つけにくい日々ですが、テイダ君やサンゴの命のはじまりに元気をもらっています。愛実の会の仲間たち、賛助者の皆様、どうかお元気です！

NPO法人愛実の会寄付者名(敬称略・順不同)

2023年3月1日～2023年6月30日

★ 寄付金

須田 静代	有賀 進	山崎 京子
塩田 保	安藤 眞知子	加藤 勝敏
澁谷 和美	丸山 美紀	有村 良子
林 恵子	三和田 良子	佐野 都吾
武井 陽一	亀田 隆子	佐藤 眞理子
出口 尚	戸田 真二	下村 徹嗣
吉谷 尚之(複数回)	安藤 晋(複数回)	

公益財団法人名古屋YWCA
教団)名古屋中央教会
金城学院

在日大韓基督教会豊橋教会
教団)名古屋桜山教会シャロンの会
教団)金城教会社会福祉委員会

★ 夢づくり

渡邊 誉	牧野 みゆき	岸野 奈奈子
林 恵子	小川 弘樹	



愛実の会の活動のために、多くの方々より寄付金を多数お寄せ下さいまして誠にありがとうございます。いただきました寄付金については大切に使用させていただきます。

2023年度寄付金目標額 170万円

内訳 愛実の会寄付金・・・160万円

紙風船夢づくり・・・ 10万円

- ・アシスタントの支援体制の充実
- ・シェアハウス充実のための土地建物建設資金
- ・紙風船人形劇の制作・公演など

メンバーが日々安心・安全な生活ができるようご支援をいただけると幸いです。

NPO法人愛実の会は、名古屋市が認定した「認定NPO法人」です。当法人は、公益事業を行う法人として、税制面で優遇を受けています。寄付をした翌年の確定申告時に、当法人が発行する寄付金受領証明書を添付することにより所得から控除を受けられます。寄付金受領証明書は確定申告まで大切に保管をお願いします。



求人募集!

愛実の会は障がい者の方への地域生活を支援するため、生活介護及び居宅介護事業を行っています。ひとり一人に寄り添うことを大切に、共に歩む社会を目指しています。

働きがい、やりがいを感じられる仕事です。
私たちと一緒に楽しい福祉を実践してみませんか！
詳しくは問い合わせください。求人票はHPに掲載

- ・正職員 居宅介護従事者(ホームヘルパー&サービス提供責任者)
変形労働制(月単位) 資格:介護福祉士、運転免許
- ・パート 生活介護支援員(大地の家) 週3日程度働ける方 資格不問

ホームページ毎月更新中!

ホームページの製作が僕の仕事です。愛実の会をたくさんの人たちに知ってもらいたいという気持ちで作っています。

わかりやすく、見やすく、伝わりやすくするにはどうすればいいかと、悪戦苦闘しながらもマイペースで制作していますので、是非見てください。



「愛実の会」で検索またはQRコード



制作担当:櫻井直人

【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

□ 障がい者デイセンター愛実(生活介護)
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24
TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889

□ 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24
TEL: 052-693-7645 FAX: 052-746-2639

E-mail info@aminokai.com
ホームページ <http://www.aminokai.com>

【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490
□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1000円 何円でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形劇制作費、公演活動に関する費用)